

令和2年度（2020年度）八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会（1／1枚目）				
調査の観点	発行者名 東京書籍	教育出版	日本文教出版	
<p>1 内容</p> <p>(1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。</p> <p>(2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の全単元で「つかむ」「しらべる」と学習過程を明示している。「まとめる」に続いては「いかす」段階や「ひろげる」段階がある。単元ごとに学習問題があり、まとめる場面でも学習問題を振り返りながら、学んだことをまとめる形式をとっている。 ・「地形」「大和朝廷」「日本国憲法」などの重要語句を、「ことば」として明示し、まとめる場面で多く使われている。知識・理解で役立つ。 ・徳川家康の扱いが戦国時代から江戸時代の人物に切り替わった。新しい試みである。 <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年国際理解の中で、インドやブラジルを取り上げているのは、目新しい。 ・ドラえもんキャラクターは子どもたちにとって親しみやすい。一方で「ひろがり」「時間」など説明はあるものの、各キャラクターの意味がわかりにくい部分もある。「見方・考え方」にかかわるキャラクターの説明は、3・4年だと18ページにある。巻頭にあると、より使いやすい。 	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全単元で、「つかむ」「しらべる」などの学習過程を明示しているわけではないが、問題解決の学習にそって編纂していることは読み取れる。「まとめる」に続いては「ひろげる・つなげる」がある。単元ごとに学習問題があり、まとめる場面でも学習問題を振り返りながら、学んだことをまとめる形式をとっている。 ・「税金」「少子化」などの重要語句は、「キーワード」として明示している。言葉の意味は原則として児童が本文から読み取ったり調べたりする形式になっている。 <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ数が最も多く、提示される資料も充実している。巻末に学習のふりかえりがあることも良い。 ・社会科の見方・考え方の説明が、巻頭(5・6年 3ページ)に位置付けられ3社でもっとも明確である。 	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全単元で、「つかむ」「しらべる」などの学習過程を明示しているわけではないが、問題解決の学習にそって編纂していることは読み取れる。 ・「自助・共助・公助」「領土」などの重要語句は「キーワード」として、説明を加えている。知識・理解面で学習に役立つ。 ・学年ごとに「〇年生の社会科で大切なこと」という巻頭言がある。経験年数の短い教員には参考になる。 <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び方・調べ方コーナーが具体的で指導に活用しやすい。(5年79ページなど) ・「関係」「空間」「時間」など社会科の見方・考え方にも触れている。(5年71ページなど多数) 	
<p>2 構成上の工夫</p> <p>(1)重点調査項目「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。</p> <p>(2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元で「つかむ」「しらべる」「まとめる」「いかす」表記があり、問題解決的な構成が明確である。「学習問題」と「学習計画を立てるページ」もある。(5年下13ページなど) ・単元末で、様々なまとめ方(白地図・模式図・話し合い・パワーポイントの活用など)を例示しており、高学年になるにしたがって、まとめ方のノウハウは増える。 ・資料に①②③と番号がついており、読みやすく指示も出しやすい。 ・学習の進め方や、社会的な見方・考え方が説明されている。巻頭にあると、より使いやすい。(5年上24～25ページ) <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の分量は、適切である。 	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元で学習問題・学習計画を立てるページがある。「つかむ」「しらべる」などと明示していない。 ・巻頭に「前の学年をふり返ろう」「社会科の見方や考え方」があり、経験年数の短い教員にとっては、活用しやすい。 ・資料に、アイウエと記号がついており、読みやすく指示も出しやすい。 ・「この時間の問い」「次の時間につなげよう」を明確に示しており、基本は見開きで一時間扱いとなっている。教員が授業を構想しやすくするための工夫をしている。 <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の分量は、適切である。 	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元ごとに学習問題を例示している。また各時間ごとにとりあげる「問い」を、紙面両端の柱に明記している。 ・「まとめる」段階で、学習問題について話し合う様子を図示しており、対話的な学びを意識している。また児童のノートを例示しており、ノート指導にも活用できる。(6年37ページ・119ページなど) ・資料に、①②③と番号がついており、読みやすく指示も出しやすい。 ・「さらに考えたい問題」として、発展的な課題を示している。(6年246ページなど) <p>(2)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の分量は、適切である。 	
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。</p> <p>(1)児童にとって読みやすい表現であるか。</p> <p>(2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1) ユニバーサルデザインについては、3社の違いがそれほど感じられない。各社それぞれに、ユニバーサルデザインフォントを採用していたり、色彩に気を付けたり、図表を大きくしたりしているなどの工夫が見られる。3社ともに読み取りやすさには配慮が感じられる。</p> <p>(2)東京書籍のフォントは、明朝体とゴシック体に似ている。ふりがなが大きめなのは好ましい。読みやすさは十分である。</p>	<p>(1) ユニバーサルデザインについては、3社の違いがそれほど感じられない。各社それぞれに、ユニバーサルデザインフォントを採用していたり、色彩に気を付けたり、図表を大きくしたりしているなどの工夫が見られる。3社ともに読み取りやすさには配慮が感じられる。</p> <p>(2)教育出版のフォントは、やや丸みを帯びている。読みやすさは十分である。</p>	<p>(1) ユニバーサルデザインについては、3社の違いがそれほど感じられない。各社それぞれに、ユニバーサルデザインフォントを採用していたり、色彩に気を付けたり、図表を大きくしたりしているなどの工夫が見られる。3社ともに読み取りやすさには配慮が感じられる。</p> <p>(2)日本文教出版のフォントは、明朝体とゴシック体に似ている。読みやすさは十分である。</p>	
<p>4 使用上の便宜</p> <p>(1)教員にとって、使いやすくするための配慮がされているか。</p> <p>(2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。</p> <p>(3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習過程を示している。また毎時間の学習過程も明示しており、活用しやすい。毎時間のめあては、問いや活動例提示の形で明示している。 ・インターネット上での資料提供や、その活用方法は各社それぞれに工夫している。 <p>(2)「ひろげる」段階は選択的な単元もあり、児童の家庭学習として活用できる。</p> <p>(3)北島絞りなど、大田区の中小工場の技術力の高さなどにふれており、東京都で使いやすい教科書である。</p>	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習過程が示されている。また毎時間の学習の過程を示しており、活用しやすい。毎時間のめあては、問いや活動例提示の形で明示している。 ・インターネット上での資料提供や、その活用方法は各社それぞれに工夫している。 <p>(2)「学びのてびき」(6年68～69ページなど)も有効である。児童が家庭学習を行う際に活用できる。</p> <p>(3)6年28ページでは、八王子市の租税教室の様子が取り上げられている。東京都の事例も多い。</p>	<p>(1)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決的な学習過程で編纂されていることがわかる。「つかむ」「調べる」などの学習過程は、全ての単元で明示しているわけではない。毎時間のめあては、問いの形で明示している。 ・インターネット上での資料提供や、その活用方法は各社それぞれに工夫している。 <p>(2)「わたしたちの学びを生かそう」というコーナーで、児童が自主的に学習することを想定し、紙面編集が行われている。(4年192ページ・5年64ページ・6年48ページなど)</p> <p>(3)東京都の事例も多いが、関西の事例が中心になっている印象である。</p>	
<p>5 その他</p> <p>※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>	<p>(1)5・6年は分冊となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分冊化したことで、一冊一冊は軽くなり重量面ではメリットがあるが、以前の単元の学習をふりかえることが難しく、教科書の紛失も予想される。 <p>(2)3・4年は全社一冊である。東京書籍4年 = 368グラム</p> <p>(3)日本全国に事例地があり、東京都も多く取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年の事例地 東京スカイツリー 宮城県 岡山市 宇都宮市 滋賀県草津市 静岡県浜松市 茨城県常総市 長野県王滝村 愛媛県 熊本県山都町 京都府京都市 和歌山県紀の川市 島根県松江市 佐賀県佐賀市 宮城県白石市 宮城県仙台市 宮城県松島町 宮城県登米町 	<p>(1)5・6年も一冊にまとめられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一冊あたりの重量面では重くなるデメリットがあるが、一冊にまとめられているので学習のふりかえりがしやすかったり、教科書の紛失が少なかったりというメリットがある。 <p>(2)3・4年は全社一冊である。教育出版4年 = 427グラム</p> <p>(3)日本全国に事例地があり、東京都も多く取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年の事例地 福岡県 静岡県浜松市 兵庫県尼崎市 神奈川県相模原市 茨城県福井県石川県富山県岐阜県 北海道稚内市 ツバル 熊本県益城町 長崎県南島原市 北海道遠軽町 福岡県福岡市 静岡県静岡市 岩手県釜石市 新潟県三条市 北海道伊達市 秋田県秋田市 徳島県徳島市 埼玉県さいたま市 神奈川県藤沢市 山梨県昭和町 沖縄県本部町北海道北広島市 福岡県 福岡県太宰府市 福岡県岡垣町 神奈川県箱根町 東京都練馬区「アニメのまち」 	<p>(1)5・6年も一冊にまとめられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一冊あたりの重量面では重くなるデメリットがあるが、一冊にまとめられているので学習のふりかえりがしやすかったり、教科書の紛失が少なかったりというメリットがある。 <p>(2)3・4年は全社一冊である。日本文教出版4年 = 358グラム</p> <p>(3)日本全国に事例地があり、東京都も多く取り上げられている。全体にやや関西の事例地が多い印象である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年の事例地 岡山県 石川県 富山県 大分県大分市 大阪府 東京都大田区 東京ドーム 野火止用水 多摩川のアユ 東京都府中市 福井県 茨城県 大阪府 新潟県 群馬県前橋市 東京都杉並区 葛飾区武蔵野市荒川 三宅島伊豆大島多摩川狛江市 兵庫県神戸市 宮城県名取市 和歌山県白浜町宮崎県新燃岳 青森県弘前市 東京都大島町 長崎県長崎市 大阪府岸和田市 栃木県那須塩原市 高知県香南市 和歌山県田辺市神奈川県小田原市 東京都玉川上水 岡山県備前市真庭市 総社市京都府京都市 	